

「超上流工程における要求分析への科学的アプローチ」研究会

2016年度第3回勉強会のご案内

2016年11月7日

情報システム学会同上研究会発

1. 日時：2016年12月5日（月）午後2時～午後5時

2. 場所：株式会社プライド会議室

■場所

株式会社プライド

東京都千代田五番町12番地1

番町会館3F

TEL：03-3239-5431

FAX：03-3239-5432

■アクセス

<http://www.naska.co.jp/access/>

JR四ツ谷、JR市ヶ谷から共に徒歩5分

3階エレベータ前の株式会社インフォメーション・ディベロプメント社総合受付 左手奥「303会議室」です。

3. 発表

2016年度第3回は、日本を代表するモデラーとして著名な児玉公信様をゲストにお迎えし、理論と実践のあくなき探究の「いま・ここ」について語っていただきます。

講師：株式会社情報システム総研 代表取締役社長／モデラー 児玉公信様

タイトル

「企業の基幹情報システムの一般モデルとアーキテクチャ」

企業の基幹情報システムは長期に渡って使用され、改良され続けてきたが、ビジネス環境の変化により、機能不全、不具合の累積、保守コストの増大など多くの課題を抱えている。しかし、基幹システムの刷新にはさまざまな障壁が立ちふさがり、多くの企業がそれに逡巡している。これは情報システム業界が長年にわたり悩んできた宿痾といってよい。もし基幹システムが、安全かつ容易に再構築でき、成長させていけるとしたら、その様相は一変するだろう。

発表者は、2008年に「少量多品種型生産管理システムの一般モデル」を提案したが、このモデルは現在、「基幹情報システムの一般モデル」に発展している。基幹システムとして必要な、大量のトランザクションを確実にかつ一定時間内で裁くためのスケーラブルでロバストなアーキテクチャも設計した。これらは実装され実稼働することで妥当性が実証されており、実践に役立つアプローチ思想となっている。

本発表では、このアーキテクチャとモデルの特徴であるドメイン分割とドメイン間連携

のモデル，ライフサイクルイベントの計画立案と実績把握の手法，知識レベルの実装，これらをドライブするプロセスなどについて紹介し，議論したい。

参加費：無料

★研究会の後、有志により忘年会を兼ねた懇親会を催します（費用は実費）。

研究会の参加希望の方は以下のメールアドレスにメールをください。

nakanishi-m@nagoya-ku.ac.jp 中西昌武（名古屋経済大学）宛て

以上